



令和2年度

# 「新しい東北」交流会

～ 広げよう、東北の力～

日時 2021.2.22 月  
13:00～18:00

新しい東北

復興庁  
Reconstruction Agency  
新たなステージ 復興・創生へ

主催 「新しい東北」官民連携推進協議会(事務局:復興庁)

# タイムテーブル

2021年2月22日(月) 13:00-18:00 ライブ配信  
各プログラムへの参加には事前の参加登録が必要となります。

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
<b>A</b> 13:00~15:15 顕彰・表彰式典 活動紹介			<b>B</b> 15:15~ 15:55 東北の 未来を語る 【基調講演】	<b>C</b> 16:00~17:10 東北から始まる 新しい未来 【パネルディスカッション】	
<b>D</b> 13:30~15:30 民間支援団体による支援活動の 「これまで」と「これから」 【調査報告・グループディスカッション】					
<b>E</b> 13:00~14:00 クラウドファンディングと 歩んだ3年間と未来 【事業説明・ パネルディスカッション】			<b>F</b> 16:00~18:00 「新しい東北」 復興ビジネスコンテスト2020 受賞報告会 【報告会】		
<b>G</b> 13:00~15:00 被災地を担う若者から見た「地域の未来」 【パネルディスカッション・ グループディスカッション・ワークショップ】			<b>H</b> 16:00~18:00 「アンコンシャス・バイアス」を知る 【セミナー】		
<b>I</b> 13:00~14:30 復興のその先の地域づくりに、 女性が生き生きと関わるには？ 【講演・パネルディスカッション】			<b>J</b> 16:00~17:30 「東北の産業復興の実践事例」 【セミナー】		

# 顕彰・表彰式典 / 活動紹介

## 令和2年度「新しい東北」復興・創生顕彰 顕彰式

被災地の課題解決に挑戦する個人や団体を募集。優れた取組を復興大臣が顕彰します。

### 受賞者

#### 釜石市 甲子地区活性化協議会

##### ■ 岩手県釜石市

甲子柿の普及・啓蒙活動を始め、消費期限が短い「甲子柿」を一年中食べられるように加工品を開発し、6次産業化を軸とする地域活性化を目指して活動。



#### チーム北リアス

##### ■ 岩手県野田村

避難所での支援物資の仕分け、仮設住宅への引越しの手伝い等を経て、現在も村まつりへの参加、児童クラブとの交流会、被災写真返却、読書を通じたまちづくり支援等を継続。



#### 特定非営利活動法人 まんまるママいわて

##### ■ 岩手県花巻市

県内8市町村で助産師が常駐する子育てサロンを開催。花巻市に県内初の産後ケア施設を開設し、県内3か所で産後ケア事業も運営。



#### 一般社団法人 イシノマキ・ファーム

##### ■ 宮城県石巻市

ひきこもりがちな無業者の若者の中間就労の場としてスタート。また「石巻市農業担い手センター」を運営し、移住希望の新規就農者へ伴走型の就農支援を実施している。



#### 一般社団法人 復興みなさん会

##### ■ 宮城県南三陸町

仮設住宅入居者を対象としたお茶会・学習会や、災害公営住宅等自治会の設立支援、地域マップづくり・移動交流会・椿の植樹活動等を通じて、町のコミュニティ再生を支援。



#### 鹿折まちづくり協議会

##### ■ 宮城県気仙沼市

まちづくりに関心のある地域住民で毎週構成員会合を行い、地域の若者達も多く参加し、地区の合意形成の仕方を変化させ、地区全体の旗振り役として活動。



#### 日本航空株式会社 地域事業本部支援推進部 東北地域活性化推進室

##### ■ 宮城県仙台市（活動は東北6県）

「インバウンド・ジャパン2017」にて「防災ツーリズム」による東北へのインバウンド拡大を提案。東北の豊かな観光資源を楽しむ旅行に防災教育も組み込み、交流人口を拡大。



#### 女子の暮らしの研究所

##### ■ 福島県福島市

県内外に住む10代~30代までの約30人の女性が研究員として在籍。伝統工芸と“かわいい”を掛け合わせた新ブランドの開発・販売を行い、女性目線で福島の魅力を創出。



#### 特定非営利活動法人 あさがお

##### ■ 福島県南相馬市

原発事故後に精神科病院や福祉施設が閉鎖し、行き場がない障がい者を受け入れ、就労環境や送迎を提供。一人一人が人間らしい生活を営むことが出来るよう継続した支援に取り組む。



#### 特定非営利活動法人 勿来(なこそ)まちづくり サポートセンター

##### ■ 福島県いわき市

身近なことを支援したいとの思いで、「市勿来地区災害ボランティアセンター」を設立。地域の精神的な拠り所となるモニュメントやタイムカプセルの設置の取り組み等を実施。



#### 小林武史 (一般社団法人APバンク)

##### ■ 東京都渋谷区 (活動は宮城県石巻市)

牡鹿半島の自然とロケーション等を活用した、総合芸術祭「Reborn-Art Festival」を継続して開催。石巻市のみならず宮城県の交流人口の拡大に大いに寄与。



# 顕彰・表彰式典 / 活動紹介

## 令和2年度「企業による産業復興事例」顕彰 顕彰式

被災地の企業や団体によるさまざまな挑戦を紹介する「産業復興事例集」から、特に参考となる事例として6企業・団体を選出し、顕彰します。

### 受賞者

#### 株式会社 十文字チキンカンパニー

##### ■ 岩手県二戸市

同社は鶏肉製品の生産・販売を中心に事業を展開しています。鶏糞を利用したバイオマス発電で、コスト削減を実現し、今後、持続可能なエネルギーとしてのさらなる社会貢献に期待がかかります。



#### 森下水産株式会社

##### ■ 岩手県大船渡市

同社は大船渡魚市場を主とした水産品の買付、冷蔵冷凍、加工販売を行っています。外国人技能実習生の受け入れや、海外からの原料調達にも目を向け、課題を乗り越えるだけでなく新たな市場の開拓にも挑戦しています。



#### 株式会社松島蒲鉾本舗

##### ■ 宮城県宮城郡

同社は1934年の創業以来、宮城の地で練りものの製品の製造を続けてきました。経営資源が限られている中、リソースを選択的に「集中」させるという賢明な判断を下し、経営難を乗り越えました。



#### ヤグチ電子工業株式会社

##### ■ 宮城県石巻市

同社では電子部品・デバイス製造を行っています。震災やコロナなど、社会のニーズをしっかりと捉えた商品開発を行い、まさにオンリーワンの商品価値を生み出し続けています。



#### 東北協同乳業株式会社

##### ■ 福島県本宮市

同社は、創業以来、安全安心な牛乳および乳製品を供給し、地域の人々の健康維持・増進・雇用に貢献し続けています。風評被害のなかにも東京大学や地元企業と手を組んで新商品を次々と発表するなど、「連携」の効果を最大限に発揮しています。



#### 株式会社ももがある

##### ■ 福島県福島市

同社は福島の完熟桃を使った商品展開を行っています。福島の農家と全国の消費者をつなぐ積極的なマーケティング活動を行い、福島のお食のリブランディングに重要な貢献を果たしました。



### 岩手・宮城・福島の 産業復興事例集 30 2020—2021



電子ブック・PDFで  
無料公開中

産業復興事例 2020 🔍

# 顕彰・表彰式典 / 活動紹介

## 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020

地域産業創出の機運醸成を図ることを目的に、東日本大震災の被災地における地域産業の復興、地域振興に資する優れた事業を表彰します。



### 受賞者

#### ★ 大賞

##### 株式会社 御前屋

■ 宮城県女川町



創業102年の老舗スーパーが女川の暮らしの“困った”を解決します！  
～老舗が紡ぐ女川町生活インフラ構築事業～

震災を契機に発生した課題にフォーカス。介護施設、スーパー、移動販売車、地域外への物販を組み合わせた事業展開に加え、NPOと連携した移住促進雇用拡大の取組を展開。

#### ★ 優秀賞

##### 株式会社 ソーシャル・ネイチャー・ワークス

■ 岩手県大槌町



害獣を「まちの財産」に。協働で取り組む持続可能なジビエ事業!!

有害捕獲した害獣であるニホンジカを活用したジビエ事業を創出し、オンラインプラットフォームによる販路開拓とPR、食肉と関連商品並びにハンターの魅力を発信し、担い手の確保を志向。

#### ★ 優秀賞 仙台銀行じもと復興創生応援賞

##### 株式会社 菅原工業

■ 宮城県気仙沼市



地域の当たり前の日常を提供し、世界と繋がる地域と企業の未来の道づくり

インドネシアからの技能実習生の活躍の場として料理店や祈祷所を設立。帰国後の就業場所としてインドネシアにプラントを建築。人手不足の課題解決、地方企業の海外進出ビジネスモデルを構築。

#### ★ 優秀賞 みずほ賞

##### 株式会社 Lethe (レイテ)

■ 福島県会津若松市



デジタルクロニクル 思い出の「デジタル供養」 Web サービス

故人の思い出を風化させないため、ITを活用し、高齢者や故人に所縁のある言葉や写真をデジタルデータ化。データを Web ページとして公開するとともに、共有可能にする SNS サービスを構築。

#### ★ 優秀賞 (学生アイデア部門)

##### 岩手県立水沢商業高等学校 大山 あかり・小野寺 美優・小竹 美貴・渡辺 柊

■ 岩手県奥州市



アパレル廃棄問題から地域の活性化を見出す一若者世代がおしゃれを楽しめる環境づくりを目指して

アパレル廃棄問題と地域の若者向けの衣料品販売店舗がないことに着目し、両者を解決するビジネスとして、廃棄となるブランド衣料品をノーブランド化して販売するモデルを提案。

#### ★ 優秀賞 (学生アイデア部門)

##### 公立宮城大学 棚橋 葵・工藤 沙良・遠藤 藤・菊池 達也

■ 宮城県大和町



大切な人へ 新しい時代の贈り物、防災定期便。

東日本大震災の経験から防災グッズの備蓄が重要であるところ、実際に準備できている人が少ないことに着目し、定期的に防災グッズを送付するサブスクリプションモデルを考案。

#### ★ アイリスオーヤマ賞

##### キャピタルホテル1000

■ 岩手県陸前高田市



地元市民が地元の価値に触れる!楽しむ! 地元の宝再発見ツアー

新型コロナウイルス感染拡大により他地域からの観光客が見込まれない状況を踏まえ、地域住民を顧客としたツアーを企画。地域の方々に改めて地元の魅力を発見してもらうことを狙う。

#### ★ KDDI総合研究所賞

##### 株式会社 シンク

■ 福島県会津若松市



のまっせ! 自動化とデータ化で 日本酒の新しい楽しみ方を世界へ

IoT ドリンクサーバーを活用し、旅館等の日本酒提供人員運用の効率化・銘柄別の提供量データを酒蔵等に提供。福島県の酒屋を応援すること、旅館や飲食業における人手不足の課題に対応。

#### ★ JTB賞

##### 株式会社 GM7

■ 宮城県丸森町



心咲く瞬間を創る。丸森と世界をつなぐ 丸森町太鼓集団「旅太鼓」

地域ビジネスの一環として、和太鼓の演奏披露や、体験をツアーに組み込んで提供し、伝統文化に触れてもらう事業。受賞団体は豊富な活動実績も有している。

#### ★ 大和証券グループ・フェニックス賞

##### 株式会社 AZクリエイト

■ 岩手県北上市



あなたの暮らしを楽しくする! 活動支援サイト「エンジョイいわて」

地域のイベントが地域住民に伝わりづらい状況に対して地域情報サイトを作成し、イベント等を掲載。イベント等の情報の認知度を向上させることで、住民の地域参加が増え、コミュニティの活性化を図る。

# 顕彰・表彰式典 / 活動紹介

## 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020

地域産業創出の機運醸成を図ることを目的に、東日本大震災の被災地における地域産業の復興、地域振興に資する優れた事業を表彰します。



### 受賞者

#### ★ わきたつ東北賞 東北経済連合会

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 石原ゼミナール

■ 宮城県仙台市



「南部の堅豆腐」ブランドプロジェクト  
～異業種・地域間連携による商品開発～

地域の伝統的な食品である「堅豆腐」に着目。スイーツ等の加工品製造・販売や、「堅豆腐」自体のブランド化による販売をアイデアとして検討。

#### ★ 東洋ワークGr.賞

公立宮城大学 事業構想学群 佐々木秀之研究室

■ 宮城県大和町



宮古の真鱈を使用した燻製品  
「MIYACOD」開発

地域の産品として、宮古で獲れる良質な鱈に着目。生でも食べられるほど質の良い鱈を燻製にして、高級志向の商品として展開することをアイデアとして検討。

#### ★ 日本生産技能労務協会 キラリものづくり賞

マMEMギモリノナカ

■ 宮城県丸森町



休眠資源を活用した、  
洗って繰り返し使えるミツロウラップ

養蜂場で廃棄される丸森町等のミツロウを活用し、再利用可能な包装用ラップを生産・販売。環境意識の高い顧客層へのアプローチを実践、既に首都圏のセレクトショップでの販売実績あり。

#### ★ 野村証券賞

石巻うまいもの株式会社

■ 宮城県石巻市



バーチャル共同工場システムによる  
「石巻金華シリーズ」の開発と販路開拓

地域の水産業者がチームとなり、加工・包装等の分業体制を構築。各構成団体の強みを生かした商品開発・販路開拓を実現し、地域産業に貢献。

#### ★ JR東日本賞

平松農園

■ 宮城県仙台市



荒浜型CSAによる野菜サブスク  
マリーゴールドと農で彩りを!

津波被災地域である仙台市荒浜地区で野菜を生産し、サブスクで定期的に配送するとともに、情報発信を行い新たな農業の担い手や地域産業の応援を目指す。

#### ★ 丸紅賞

福島県立岩瀬農業高等学校 アグリビジネス科 情報発信専攻班

■ 福島県鏡石町



カ農カフェ

地場産業である農業の振興を目標に設定し、カフェの運営に取り組む。学校で収穫した農作物を活用したカフェメニューの開発・販売も実施し、実際に地域住民に提供。

# 顕彰・表彰式典 / 活動紹介

## 受賞者による活動紹介

「新しい東北」復興・創生顕彰、「企業による産業復興事例」顕彰、  
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020の受賞者が活動紹介を行います。



発表者 .....

### 「新しい東北」復興・創生顕彰 受賞者

- 釜石市甲子地区活性化協議会  
会長 藤井 サエ子氏
- チーム北リアス  
共同代表 永田 素彦氏
- 特定非営利活動法人まんまるママいわて  
代表理事 佐藤 美代子氏
- 一般社団法人イシノマキ・ファーム  
代表理事 高橋 由佳氏
- 一般社団法人復興みなさん会  
代表理事 後藤 一磨氏
- 鹿折まちづくり協議会  
会長 熊谷 英明氏
- 日本航空株式会社地域事業本部支援推進部  
東北地域活性化推進室  
代表 菊池 康文氏
- 女子の暮らしの研究所  
代表取締役 日塔 万貴氏
- 特定非営利活動法人あさがお  
理事長 西 みよこ氏
- 特定非営利活動法人  
勿来まちづくりサポートセンター  
理事長 館 敬氏
- 一般社団法人APバンク  
小林 武史氏

### 「企業による産業復興事例」顕彰 受賞者

- 株式会社十文字チキンカンパニー  
代表取締役社長 十文字 保雄氏
- 森下水産株式会社  
代表取締役 森下 幹生氏
- 株式会社松島蒲鉾本舗  
代表取締役社長 朱 二太氏
- ヤグチ電子工業株式会社  
取締役社長 佐藤 雅俊氏
- 東北協同乳業株式会社  
代表取締役 佐久間 博康氏
- 株式会社ももがある  
代表取締役 齋藤 由美子氏

### 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020 受賞者 (大賞及び学生アイデア部門優秀賞)

- 株式会社御前屋  
代表取締役 佐藤 広樹氏
- 岩手県立水沢商業高等学校  
大山 あかり氏、小野寺 美優氏、小竹 美貴氏、渡辺 柊氏
- 公立宮城大学  
棚橋 葵氏

PROGRAM

B

基調講演 15:15~15:55 ライブ配信

# 東北の未来を語る

～震災からの歩みを踏まえて～

東日本大震災を通して考えたこと・感じたこと、そして震災からの復興の先にある東北の明るい未来のためには何が必要なのか。宮城県出身のアナウンサー生島ヒロシ様にご講演いただきます。



講師

## 生島 ヒロシ氏

宮城県生まれ、1971年単身渡米、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校ジャーナリズム科卒。1976年TBS入社、ラジオ番組を振り出しにアナウンサーとして活躍。1989年独立。その後、ファイナンシャルプランナー、防災士などの資格を取得。現在、TBSラジオ系『生島ヒロシのおはよう一直線』等のレギュラー番組、講演等多方面で活躍。

PROGRAM

C

パネルディスカッション 16:00~17:10 ライブ配信

# 東北から始まる新しい未来

東北が持つ魅力を、日本のみならず世界に広めるために必要なことについて地域コミュニティ形成、製造業、農業という異なる視点から、自由にディスカッションいただきます。



モデレーター



東北学院大学教養学部  
地域構想学科  
柳井 雅也氏



パネリスト



認定NPO法人  
つながりデザインセンター  
(副代表理事)  
■宮城県仙台市  
新井 信幸氏



株式会社  
ワンテール  
(代表取締役)  
■宮城県多賀城市  
島田 昌幸氏



認定NPO法人  
つながりデザインセンター  
(事務局長)  
■宮城県仙台市  
宮本 愛氏



農業組合法人  
いわき菌床椎茸組合  
(代表理事)  
■福島県いわき市  
渡部 明雄氏

PROGRAM

D

調査報告・グループディスカッション 13:30~15:30 ライブ配信

# 民間支援団体による支援活動の 「これまで」と「これから」

民間支援団体へのアンケート調査等の結果報告を踏まえて

震災から10年を迎えるにあたり、被災地の民間支援団体にアンケート調査や対話型WSを実施しました。調査結果を踏まえ、東北の「これまで」の振り返りと「これから」のありたい姿について、参加者の皆様と議論します。



検証経過報告

三菱総合研究所 主席研究員  
白戸 智氏



発表者

復興庁 参与  
田村 太郎氏



PROGRAM

E

事業説明・パネルディスカッション ■ 13:00~14:00 ライブ配信

# クラウドファンディングと歩んだ3年間と未来 クラファンによって広がった東北の可能性。 挑戦者とコーディネーターが経験談と共に未来を語る！

3年間続いた支援事業を経験談と共に総括。クラファンの成功で事業を活性化した事業者と、地域のクラファンをサポートするコーディネーターが登場。クラファンが挑戦者や地域に与えた変化と今後の可能性を語ります。

モデレーター

一般社団法人RCF  
浦山 泰之氏

パネリスト .....

株式会社エフライフ  
代表取締役社長  
小笠原 隼人氏

タヤマスタジオ株式会社  
田山 貴紘氏

株式会社阿部伊組  
阿部 将己氏

PROGRAM

F

報告会 ■ 16:00~18:00 ライブ配信

# 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020 受賞報告会

応募総数75件の中から栄えある賞を受賞した皆様の受賞報告会(スピーチ)を実施するほか、協賛企業の復興に関する取組等についてご紹介します。

参加者 .....

「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020受賞団体・協賛企業  
受賞団体の詳細は、P5、6をご覧ください。

PROGRAM

G

パネルディスカッション・グループディスカッション・ワークショップ

■ 13:00~15:00 ライブ配信

# 被災地を担う若者から見た「地域の未来」 この10年間の活動から垣間見た被災地の将来像

この10年間、被災地で活動を続けてきた地域の若者、地域おこし協力隊、移住者、また地域の人材育成を担う人々の目から見た「地域」はどう映っているのか？若者たちのこれまでの活動内容や気づき・学びをヒントに、「地域の未来」について、参加者とディスカッションします。

ファシリテーター

エイチタス株式会社  
原 亮氏

パネリスト .....

一般社団法人イトナブ石巻  
古山 隆幸氏

福島大学  
災害ボランティアセンター  
竹内 瑛祐氏

大堀相馬焼  
松永 燾  
松永 武士氏

非営利活動法人 SET  
三井 俊介氏

## PROGRAM

# H

セミナー ■ 16:00~18:00 ライブ配信

## 「アンコンシャス・バイアス」を知る

自分の中にある無意識の思い込みに気づくと  
行動が変わり、新しい社会や組織づくりの視野が広がる

東北の新しい社会や地域、組織づくりには多様な視点が不可欠です。  
被災地を学びの場として「東北ツアー研修」を行い、復興支援を続ける講師とともに、誰にでもあるアンコンシャス・バイアスについて学びます。



講師

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所  
代表理事

守屋 智敬氏

## PROGRAM

# I

講演・パネルディスカッション ■ 13:00~14:30 ライブ配信

## 復興のその先の地域づくりに、 女性が生き生きと関わるには？

～岩手・宮城・福島の実践例から学ぶ、地域と女性を結ぶ仕掛けづくり～

地元出身者、ボランティアからの移住者、夫の転勤をきっかけにした移住者という、それぞれ異なる立場から東北の地域づくりに関わる女性たちから取組事例を学び、地域と女性を結ぶ仕掛けづくりについて考えます。



パネリスト

一般社団法人tenten  
藤本 菜月氏

一般社団法人トナリノ  
板林 恵氏

NPO法人ウィメンズアイ  
栗林 美知子氏

## PROGRAM

# J

セミナー ■ 16:00~17:30 ライブ配信

## 「東北の産業復興の実践事例」

～中小企業の成長戦略を専門家から学ぼう～

マーケティング→商品開発→ブランディングと一貫した流れで中小企業の販売戦略支援を行う専門家を迎えて、成果事例を交えながら、東北被災地の事業者を成長に導く手法を紹介し、東北地域産業の今後の展望を語ります。



講師

ブレイントラストアンドカンパニー株式会社  
代表取締役社長  
マーケティングプロデューサー  
大志田 典明氏

株式会社コミュニーナ  
取締役  
MBA・マーケティングディレクター  
笠間 建氏

一般社団法人 Iki Zen  
専務理事  
管理栄養士・フードコーディネーター  
齋藤 由布子氏